

平成31年第1回田原市教育委員会定例会会議録

1 開会 平成31年1月21日 午後1時30分

2 閉会 平成31年1月21日 午後2時20分

3 会議に出席した委員

金田真也教育長職務代理者、山本明子委員
太田孝雄委員、天野千栄子委員

4 会議に欠席した委員

花井隆教育長

5 会議に出席した職員

教育部長

宮川裕之

教育総務課長

伊藤英洋

学校教育課長

杉田哲利

生涯学習課長

森下 錬

スポーツ課長

鈴木信宏

博物館長

鈴木利昌

文化財課長

増山禎之

中央図書館長

豊田高広

教育総務課課長補佐兼係長

小久保義則

教育総務課主査

彦坂幸子

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第1回定例会議事日程

日 時 平成31年1月21日（月）
午後1時30分
場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小中学校への寄附について
- (3) 平成31年田原市成人式の出席者について
- (4) 教育委員会が共催・後援した事業について

3 その他

開 会 午後 1 時30分

教育長職務代理者

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

教育長から欠席の連絡がございましたので、報告します。

ただいまの出席者は4名であります。定足数に達していますので、平成31年田原市教育委員会第1回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、太田委員と天野委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

教育長職務代理者

それでは、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡報告事項から順次お願ひいたします。山本委員から、お願ひいたします。

山本委員

私は、成人式はラオスへ行っておりまして欠席させていただきましたので、1月19日、先週土曜日のPTA連絡協議会研究発表のほうに出させていただきます。

今回は、亀山小学校と六連小学校なんですけれども、亀山小学校の研究発表がとてもレベルの高いもので、すごくおもしろく、聞きやすく、内容もすごく、細かいこともたくさんあるんですけれども、一つ一つに、PTAの行事が地域に密着して、子どもたちを支えるということと、本当に意味のあるというか、実質にできているというんですか、それはすごく感じました。

六連小学校も、地引網とか、やはり内容的には、発表よりも何よりも、子どもたちと一緒に、どれだけ子どもたちを地域で支え合っていくかというところがすごくわかって、これも本当に、ほかの学校もこのような感じで、発表だけではなくてやれるといいなというふうにすごく感じました。とてもいい機会で、学校の現場として親子とのかかわり合いとか、そういうものをすごく知ることができて、私たち教育委員もいろいろなことを知ることができたなということで、意味ある発表会だったというふうに感じております。

以上でした。

教育長職務代理者

ありがとうございました。

続いて、太田委員、お願ひします。

太田委員

私は、1月13日の成人式に出席させていただきました。

昨年にも増してさらに落ち着いた式で、世間に言われるような荒れた成人式とは打って変わった、立派な成人式だったと思います。格好は派手な格好をしている子もいましたけれども、式を乱すことなく、

とてもいい式だったと思います。

障害のある方への配慮ということで、手話だとか要約筆記なんかを例年やられていて、昨年も感じましたけれども、やはり要約筆記のあのスクリーンは低いんじゃないのかなと思うんですが。ちょっと元気のよさそうな子たちが前のほうにいるものですから、あそこは立つと全然見えなくなるので、一番前に、多分ボランティアの方だと思うんですが、その方がいて、何回か注意をされていました。元気のいい子ども、反抗していくようなことはなかったですけども、もう少しスクリーンを高くしたほうがいいのではないかなということを感じました。成人式は以上です。

それから、PTA連絡協議会の研究発表会、私も山本委員と同じようなことを感じました。多分、どこの学校も同じようなことをやられているかと思うんですが、ああいう、持ち回りですけども、研究発表会に当たったところはある面大変ですけども、PTAとしてはとてもまとまりができるし、プラス方向で考えていくといい発表会で、一時期これをやめたらどうかというような意見もあったと思うんですが、継続しているということは、この発表会のよさを皆さんわかってみえるのかなというふうに思いました。

それから、まったく別で、一つ、赤羽根中学校の夢W o r k e rリンクへ先週の金曜日に行きました。私は文化協会のほうもやらせていただいている、その文化協会に入っている川口木工の川口さんと年末にお会いして話をする機会に、今度赤羽根中学校に話しに行くのだということ言われたものですから、彼はちょうど私が福江中学校のときに教えた学年だったということもあり、興味を持って行かせていただきました。

この夢W o r k e rリンク自体は、ここ数年続いているんですけども、中学校2年生の進路指導の一環として、職業観やふるさと学習にも関連してくるかと思うんですが、中学生の視野を広げるという意味では、この地元で活躍している人のお話を聞くということはとてもいい機会ではないかというふうに思います。大人が聞いても、やはり生き方としてこのような生き方をしている、考えて生きている人もいるんだなということを考えさせていただける、とてもいい行事だと思います。

川口さん自体は、内閣総理大臣賞を2回もとっているという大変すばらしい職人さんですけども、それ以外にも、伊藤海苔店さんだとかアイシンだとか、そういった方々のお話の講座があって、私は川口さんのところしか聞きませんでしたけれども、こういった機会を教育委員会のほうでいろいろご尽力いただいているかと思えますけれども、続けていけるといいなというふうに思いました。

以上です。

教育長職務代理者

天野委員

はい、ありがとうございました。

続いて、天野委員、お願いいたします。

報告させていただきます。

1月8日の火曜日に、田原市の男女共同参画推進懇話会のほうに初めて出席させていただきました。委員さん方の名簿を見ますと、田原市内のさまざまな組織や団体の方々がお見えになっていまして、当日出席されていた男女の割合は半々ぐらいにお見受けしたんですけども、圧倒的に発言される方は女性のほうが多かったです。

主に、昨年の8月に行われた男女共同参画フェスティバルの開催報告ですとか、反省ですとかの話、来場者に行ったアンケートの結果発表などがありました。あと、その他の委員さん方のそれぞれのお立場の活動や取り組み状況などの発表がありました。

本当に初めてでしたので、全てのご意見がなるほどなるほどという感じだったんですけども、中でも興味深かったのが、地域の防災グループに入られましたという委員の方のご意見で、市の11月11日の防災訓練が行われたと思うんですけども、その際の準備の会議等で、なかなか女性の意見が、あまり取り上げてもらえないなと感じていらっしやるということでした。災害が起きたときに、避難所ですとか、女性が果たす役割というのは結構大きいと思うんですけども、やはり男性主体で、なかなか女性の方が意見を言える場がないとお感じになっていらっしやるということでした。

あとほかに、私たちも関係するかもしれないんですけども、子どもたちが男女の平等を感じ取るために、小中学校で男女の混合名簿を実施するというご意見がありました。豊橋市では全ての小中学校で混合名簿を実施されていると聞きまして、調査によると田原市では2校、南部小学校と赤羽根小学校だけだそうで、私の地元の福江中学校は、最初はやっていたんですけども学校の事情で今はやめているということで、私も子どもの時代にも知らなかったのでびっくりしました。そのことについて学校教育課の小笠原先生が回答してくださっていらっしやるので、学校現場でそれぞれの事情があるので強制はできないけれども、今後の方向として推奨していきますという回答をされていらっしやるのでした。

本当に、この会は私も初めてだったものですから、いろいろ新鮮なお話ばかりで、お役目をせっかくいただきましたので、今後とも男女平等ですとか人権差別について勉強させていただきたいと思えます。

それから、13日の成人式、私は去年田原市PTAで新成人の代表の方に花束を贈呈する大役をいただきまして、大変緊張していたのを思い出しました。早速ティーズでも放送されていて、見させていただいて感じたのは、今年は本当に、新成人の方々がとても地元の田原市を

大切に思っていらっしゃるなということを感じました。とても華やかな、おめでたい式に参加させていただきました。

あと、先日19日に田原市の小中学校PTA連絡協議会の研究発表会に出席しました。最初に発表された亀山小学校は、昨年10月19日に日本PTAの東海北陸ブロックの研究大会で、私が県PTAとして担当させていただいていました。豊橋で行われた分科会で発表をいただいた学校でした。

でも、その当日は裏方でちょっとばたばたしておりましたので、じっくり発表の内容を聞くのは本当に初めてでございました。発表が終わった後で、ほかの委員さんからお話いただいたのが、やはり、先ほども言うてくださったんですけれども、さすがに大きい大会を経験されているから上手だったねと、亀山小学校のことをほめていただきまして、何だか私まで嬉しく思ってしまった。

六連小学校も、亀山小学校も、ともに児童数が市内で一、二の少ない学校ということで、児童数の減少を一番の問題とされながらも、小規模校ならではの温かい活動発表がうかがえました。こちらの会では私も昨年お茶出しと司会をさせていただいたものですから、とても緊張した思い出がございまして、また次の年には、今度はお茶を出していただける立場になろうとは想像しておりませんでした。

先ほども太田委員からもあったように、やはり、児童数の減少とともにPTAの人数も減少しているということで、PTA自体も発表委嘱校になったときに、負担が大きいという声も若干聞かれるんですけれども、やはり、主催のほうも経験させていただきまして、来場者のアンケート等を拝見し、やはり、PTAの皆さんがほかの学校の活動を知ることができる貴重な機会だということを感じますので、ぜひ、今後とも続けていただけたらと思っております。

以上です。

はい、ありがとうございました。

最後に、私からも報告させていただきます。

1月8日に、田原市子ども・子育て支援会議に出席してきました。保育園のお話なんですけれども、保育園のほうでも、少子化だとか、施設の老朽化、そういったものがものすごく問題になっていて、田原市には20園ぐらい保育園があるんですけれども、そういった保育園の半分近くが、3歳以上の子どもたちが50人以下の小規模園、そして3分の1にあたる7保育園ぐらいが、35年以上たった老朽化した園ということで、そういった保育園を統合、そして民営化というのをどう図っていくのかというお話をしてきました。

決まっているのが、北部保育園と山北保育園が統合・民営化で平成32年4月1日に童浦こども園になるということと、高松、赤羽根、若戸保育園が統合・民営化して、平成34年赤羽根こども園ということで、

教育長職務代理者

赤羽根保育園の隅にできるという話でした。また、3歳から5歳までの幼稚園とか保育所の認定こども園などは無償化になるということのお話もしてきました。

続きまして、1月13日、成人式に参加してきました。田原市吹奏楽団の生演奏を聞きながら、ぜいたくな時間を過ごしながら開演を待っていました。開演に関しては、さきに委員さんが言ったような状態で、落ち着いた式だったんですけども、自分はたまたま娘が成人式だったということで、最後のほうまで初めて見させていただいたんですけども、写真撮影のとき、スムーズに流れるようにスタッフの人が中と外で連携をしながら、よく力を合わせながらやっているなというのを感じたというのと、遠くの中学校、伊良湖岬中学校から福江中学校と、順次写真を撮って行って、早く遠くの子から帰れるような配慮がされているのだなということを感じました。

あと、ただ一つ気になったのが、配布された式次第、あの中にもパンフレットなどがいろいろ入っていたんですけども、それが少し、写真を撮るときになると邪魔になってしまい、バックなども持っているので、母親のところに全部預けてしまって、せっかくスタッフの人が準備したのになと思いつつも、その子たちが果たして家に帰って見たのかなという。その辺が少しスタッフの努力とかみ合わなくて残念だなと思いました。中を見たら、献血のことだとか選挙に行かなければならないことだとか、出産適齢期とか、そのようなどても重要なことが書いてあったので、ぜひとも目を通してほしい内容だったなというふうに感じました。

1月19日、田原市小中学校のPTA連絡協議会研究発表会に出席したんですけども、田原一小さい亀山小学校と2番目に小さい六連小学校の発表を聞かせていただいて、子どもは少ないんですけども、地域、PTAといった、学校のために一生懸命になっているという、そういった地域とかPTAの人たちの行動は温かい、ありがたいなというふうに思いました。

あと、これは関係ないことなんですけれども、12月23日の新聞に、田原市小中学校教職員やOBの美術サークル展があると書いてあったので少し見てきました。32回目ということなんですけれども、最後ということで、先生達の美術の作品が出品されていました。先生ならではのということで、大変よくできましたとか、そういった手づくりの印鑑だとか、親子が笑った油絵。こういうのは多分先生しか描けないだろうなとか、子どものために頑張っているんだなというのがとても伝わってきて、ああ、いい作品だなと思って、見て帰ってきました。

私からの報告は以上です。

それでは次に移ります。

教育総務課長

次に、報告事項（２）小中学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

それでは、教育総務課から１点報告をさせていただきます。

お手元の資料、平成30年度教育関係の小中学校寄附一覧ということで、１月15日現在のものです。

今回、１月15日に国際ソロプチミスト豊橋ポートの会長西川典子さんから、市内の小学校18校に、地域社会への貢献ということで書籍「おおきな木」というグリーンの表紙で、大変鮮やかな見やすい色の本の寄附をいただきました。

この団体が、一覧表の上から２番目にあります豊橋ベンチャークラブが昨年度をもって解散になりましたので、その後を引き継いで寄附を続けていくということで、今回寄附をいただいたものです。

東三河の小学校に、全て同じ本を1冊ずつということですので、田原市としては18校ですが、東三河の180校以上の学校に同じものが寄附されたということでございます。

私からの報告は以上です。

教育長職務代理者

ただいま事務局の報告がありました。小中学校の寄附について、ご質問等はございますか。

ご質問もないようですので、次に、報告事項（３）平成31年田原市成人式の出席者について、事務局からの報告をお願いします。

生涯学習課長

生涯学習課から、よろしくお願いいいたします。

先ほど、委員さんの連絡報告事項でも取り上げていただきましたように、１月13日、田原総合体育館におきまして平成31年田原市成人式を開催いたしました。委員の皆様にはご出席いただきまして、ありがとうございました。

出席者でございますけれども、資料にございますように新成人568名、男性が269名、女性が299名ということでございました。実際の市内の在住者数は、男女合計で769名、それ以外に、市外に出ているけれどもこちらのほうで受けたいということで56名。対象者の計としては825名の方ということで、今回、出席者が568名、パーセントにしまして68.85%の方の出席だったということです。例年、大体70%前後ということの出席率となっております。

なお、本年度、この中には外国人の方が85名参加されていたということで、このあたりについては毎年増えていく傾向にあるという状況でございます。

あと、それぞれの地区からの参加につきましては、こちらの表をまたご覧いただきたいと思っております。

皆様がおっしゃるように、式自体は非常に厳かにといいか、とても穏やかに進んで、よかったかなというふうに思います。また、先ほど太田委員さんからいろいろアドバイスをいただきましたので、またそ

ういったところについても、来年度改善をしていけたらというふうに思っております。ありがとうございました。

以上です。

教育長職務代理者 ただいま事務局の報告がありました。平成31年度田原市成人式の出席者について、ご質問等はございますか。

太田委員 出席者とは関係ないんですけども、成人式も18歳からというような議論も、法律が変わることによってあるようですけども、大方、今までどおり20歳からということが多いようですが、田原市でもそのような議論がなされるのか、予定があるのか。その辺はどうでしょう。

生涯学習課長 そうですね、18歳ということで、どこでやるかというのがまず、正直、まだ具体的なところがないというのがございまして、一つは総務省のほうから、そのあり方であったりだとか、どうするかというところも、ある程度国の考え方も出るというような話も聞いております。

そういったものを参考にしながら決めていきたいということで、今の段階では、特にまだいついつ、何歳を対象にということまでは決まっていない状態であります。

太田委員 はい、わかりました。

教育長職務代理者 ほかによろしいでしょうか。

ご質問もないようですので、次に、(4)教育委員会が共催・後援した事業についての報告をお願いいたします。

生涯学習課長 では、続きまして生涯学習課からお願いいたします。

平成30年の田原市教育委員会の共催・後援事業ということで、お手元のほうに資料として添付をさせていただきました。一番最後のところに書いてございます、共催については31件、後援については103件と、非常に多くのものが出ております。

この共催・後援につきましては、田原市社会教育事業共催・後援事務取扱要領に基づいて行っておりまして、共催につきましては、市の補助事業であったりとか、有益性の非常に高いものというようなことでございます。また、後援についても、社会教育事業として認めるのが適当であるものということで位置づけをさせていただいて、こちらのほうで出しているものでございます。

昨年度はちょっと資料がなかったんですけども、平成28年度の資料を見ますと、そのときの倍ぐらいに増えているということで、今年はたまたま細かな事業、イベント等も多かったということもありますけれども、こうして見ていただきますと、年間かなり社会教育に関するイベントというものが、行われているのかなというふうに思います。

簡単でございますけれども、以上でございます。

スポーツ課長 続きまして、共催・後援のスポーツ課の関係につきまして、スポーツ課から説明させていただきます。

教育長職務代理者
生涯学習課長

資料のほうを添付させていただきましたけれども、スポーツ課としての共催・後援事業でございますけれども、最後5ページのほうを見ていただきますと、共催事業が42件、後援事業が57件ということで、合計99件の共催・後援を行っております。

先ほど生涯学習課長が言いましたとおり、社会教育事業共催・後援事務取扱要領に基づきまして行っているものでございます。スポーツ課としては例年100件前後の共催・後援がある状況でございます。

簡単ですけれども、私からは以上です。

はい。たくさんやるのだなあという感じがしますけれども。

生涯学習のほうでは、わりと文化協会に参加していただいている方が発表会を行ったりだとか、そういったときに教育委員会として後援を出したり、共催を出したりということがございますので、そういったサークル活動をたくさんやっていたりしている場合は、やはりこういったものが増えてまいります。

教育長職務代理者

知らないところで、ご苦労様です。

ただいま、事務局から報告がありました。教育委員会が共催・後援した事業について質問等ございましたらお願いいたします。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長職務代理者
教育部長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

すみません、私のほうから2点。

まず1点、資料も何もないんですけども、来年度の2学期の終わりの日、教育委員会規則でいうと12月24日から1月6日までが冬季の休みという決めがあります。今までですと、23日が天皇誕生日で、今年、平成31年でいうとその23日が月曜日になります。土日を考え、20日が2学期の終了というのが今までの例なんですけれども、今回、元号が平成から新しくなるということで、多分23日の天皇誕生日が祝日ではなくなるだろうという話がありました。

県内の市の教育長会議に私が代理で出てきました。その検討の中で、規則どおり24日からが冬休みで、終業式を23日にしたらどうだというお話で、今、市の教育長の中では進んでおります。ただ、まだこの後町村の教育長会議ですとか、県の教育委員会のほうでの協議なんかもありますので、決定ではありませんけれども、とりあえずそういった動きがあるというところだけご報告をさせていただきます。

それともう1点ですけれども、皆さんのお手元に、浜岡原子力発電所における原子力災害における避難者の受入についてというのをお配りさせていただきました。浜岡原子力発電所でもしも事故が起きたときに、その関連の市が近くのところ避難をすると。その中に田原市が指定をされておまして、今からその経緯をお話ししますが、その避難の施設として教育委員会の施設を幾つか使うことになるだろ

うということで、皆さんに説明をさせていただきます。

まず、経緯のほうからご覧ください。

線が書いてありますけれども、東日本大震災の福島原発の事故の関係で、国が原子炉施設から30キロメートル圏内の自治体については広域避難計画を策定すること。通常、避難計画というとその市の区域内ですけれども、これは市・県を超えた広域的なものを策定しなさいというふうになりまして、それを受けて、静岡県が広域避難計画を策定しました。

概要を申しますと、浜岡原子力発電所が御前崎市、御前崎の根元の辺にあるんですけれども、そこから東側については関東のほうに避難しなさい、西側のほうは静岡県内または愛知県の方に避難しなさいよと、まずこの大きな計画があります。

その中で、各市ごとにどこの市が受け入れるかという、そういった部分まで定まっております。静岡県にある菊川市というところが、浜松市と湖西市と豊橋市と田原市、この四つに避難をしなさいという計画があります。ということで、うちは菊川市の受け入れについてどういった施設を使うかというのを今後調整していきます。

2番目の避難の方法というところを見てください。フローです。簡単に言いますと、避難があったら、原則としては自家用車で避難してください。自家用車がない人は当然一時集合場所からバスや電車を使って避難をします。その避難に当たっては、まずは自家用車でいうと、例えば東名高速道路の入口といったところで、被爆しているか、その辺の検査を行います。検査を受けてから、避難経由場所ということで、田原市の場合は白谷海浜公園にまず一時的に集まります。それからいろいろな市内の避難所にやってきますよということで、白谷海浜公園も教育委員会の所管です。この市内避難所というのが、多分いろいろな、どこになるかわかりませんが、教育委員会の施設がほとんどになってくるだろうというようなことです。

裏面を見てください。

避難がどれぐらいかといいますと、菊川市の総人口が約4万8,000人おります。4万8,000人のうちの約1万1,000人が田原市のほうに避難をしてくるだろうといった形です。

菊川市の場所なんですけれども、御前崎市と隣接しております、おおむね4万8,000人のうちの1万1,000人がおおむね10キロメートル圏内という、非常に近いところにあります。20キロメートル圏内の輪の中には菊川市全体が入ってしまう。だからもう、何か事故があれば必ず避難が必要になってくると。

ただ、この計画には二つありまして、まず一つは、田原市、浜松市、湖西市、豊橋市、それらが受け入れ先の避難1ということになるんですけれども、原発の事故という可能性で言いますと、うちのほうも地

震や何かで被害を受ける可能性があります。そうしたときは受け入れができないということで、うちではなくて、この避難2の北陸地方、菊川市は富山県の富山市のほうになります。そちらのほうに避難するといった計画です。うちはあくまでも、田原市に被害がなく、受け入れが可能な場合には受け入れをしますよといった流れになっております。

それで、3番にある今後のスケジュールです。これは菊川市のスケジュールです。1月、庁内会議で避難計画、1月21日に菊川市長が田原市長へ訪問に来ます。その後、議会等に報告をしていくということで、田原市としては、まず1月21日に菊川市長が田原市長を訪問する際には、大まかな受け入れ計画、こういったところが可能ですよというところを示したいというような部分で、早速、明日になりますけれども、防災局と打ち合わせをしたいなというふうに考えております。

そういった形で、もしも浜岡原発に何かがあって、うちが受け入れ可能な場合には、教育委員会の施設が避難所として使用されるというところで、皆さんご了解を願いたいなというふうに思います。

以上です。

教育長職務代理者

ただいまの報告について、質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

ほかに、その他ございますか。

中央図書館長

中央図書館です。

今、委員さんにはお渡しさせていただきましたけれども、昨年11月の文教厚生委員会で、田原市ふるさと教育取り組み指針について報告をさせていただきました。

特にご質問はなかったんですけども、今後、指針についてPR、実施というふうに取り組みを進めていきますよということで説明をさせていただきました。

1枚目に、その取り組み期間というのが一番下のほうに書いてありますけれども、平成30年度から平成32年度まで、この取り組み指針に従ってふるさと教育を進めていき、最終年度にはこの指針を見直して、田原市教育振興基本計画に統合していくというような話をさせていただいております。

以上であります。

教育長職務代理者

ありがとうございます。

田原市ふるさと教育取り組み指針の概要について、質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、委員の皆さんから何かありましたらお願いします。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第1回定例会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後2時20分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員